

5類移行後の私たちの暮らしはどうなるの？

新型コロナウイルス Q&A

※以下の情報は2月14日時点のもので、今後変更になる場合があります

Q 市の新型コロナウイルス感染症対策室はなくなるの？

5類移行後も感染状況の変化に迅速な対応をするため、新型コロナウイルス感染症対策室の設置は当面継続します。

Q ワクチン接種はどうなるの？

国の方針に応じ、総社市では希望者が接種できる体制を継続します。感染状況に応じて、集団接種が実施できる体制を準備していきます。

Q 感染者の自宅療養や濃厚接触者の待機はなくなるの？

5類移行後は、外出制限はなくなります。だからこそ、今後も感染が拡大する可能性がありますので、感染対策を徹底しましょう。

Q 流行の度合いをどうやって知ればいいのか？

5類移行に伴って、感染者数の発表はなくなります。市が感染の広がりを把握した場合は、随時皆さまにお知らせしていきます。

Q イベントは開催できるの？

イベントの開催は可能ですが、主催者・参加者ともに必要な感染対策を行った上で、開催するようにしましょう。

Q 市の電話相談はなくなるの？

電話相談は当面継続し、市民の新型コロナウイルス感染症への不安に寄り添います。

■相談窓口 (☎ 0866-92-8380)

Q 市が行う自宅療養支援はどうなるの？

感染者・濃厚接触者への外出制限撤廃とともに、原則として自宅療養支援は終了します。

Q マスクは着けなくてもいいの？

3月13日から、マスク着用は屋内・屋外ともに個人の判断に委ねられます。屋外や屋内でも周囲に人がいない場面などでは外す、医療機関や高齢者施設など重症化リスクの高い人が集まる場所では着用するなど、TPO（時・場所・場合）に応じた着脱を心掛けましょう。

Q 子どものマスク着用はどうなるの？

学校・園でのマスクを着けるとき、外してよいつきの基準を示します。その際、総社流として子どもたちと会話を持ち、思いをしっかりと受け止めながら実行していきます。

Q 小中学校などの学級閉鎖の基準はどうなるの？

新型コロナウイルス感染症の学級閉鎖基準は終了し、新年度からインフルエンザ並みの扱い（クラスの2割程度の感染確認）への見直しを行います。

5類移行 総社スタイル！

5類になっても油断大敵

問い合わせ 新型コロナウイルス感染症対策室 (☎ 0866-92-8278)



5類移行後も市民に寄り添う方針を述べた

～市民の声を聞く～ 新型コロナ連絡会議

1月24日、新型コロナウイルス感染症に関する連絡会議を開催。地域づくり協議会会長や民生委員など約30人が出席しました。

会議では、これまでの感染者患者への対応や5類に移行した際の市民生活への影響などについて担当者が説明。出席者からは、移行後の生活や支援体制についての質問が投げ掛けられました。

総社市感染症専門家会議を開催

市役所で2月13日、総社市感染症専門家会議を開催しました。市内外の医療関係者や感染症分野の専門家が出席。5類移行後のワクチン接種体制やマスク着用の考え方、学級閉鎖基準などについて話し合われました。

議論の結果、次の3つの柱を総社市の方針とすることが確認されました。

- ▼5類移行後も、新型コロナの感染力や病原性が変わるわけではないため、気を緩めず感染対策を継続する
- ▼子どもや一般の人と高齢者など重症化リスクの高い人への注意喚起は分けて行う
- ▼感染状況に応じて柔軟に対応する

そのほか、学校・園での子どものマスクの着脱については、子どもたちとの対話を大事にして実施し進めていく方針も合わせて確認されました。



座長・山本太郎教授

長崎大学熱帯医学研究所教授。医学・国際保健学を専門とし、感染症疫学などの研究を推進している。



山本教授は、「子どものマスク着用については、子どもの意見を大切にしたい」と述べた